

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平7-17000

(43) 公開日 平成7年(1995)3月20日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

G 1 0 L 9/18

J

G 1 1 C 27/00

C

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 2 頁)

(21) 出願番号

実願平5-46923

(22) 出願日

平成5年(1993)8月30日

(71) 出願人 000001889

三洋電機株式会社

大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号

(71) 出願人 000214892

鳥取三洋電機株式会社

鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地

(72) 考案者 岡崎 諭美

鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地 鳥取
三洋電機株式会社内

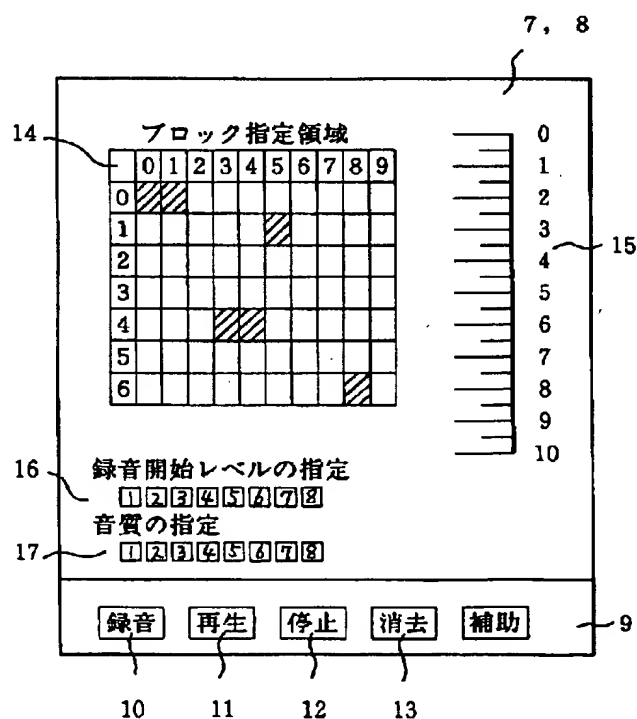
(74) 代理人 弁理士 安富 耕二 (外1名)

(54) 【考案の名称】 録音再生装置

(57) 【要約】

【目的】 本考案は、音声記憶手段として半導体メモリを利用する録音再生装置において、上記半導体メモリ利用のメリットを最大限活かすことにある。

【構成】 半導体メモリ中の複数のブロック夫々における音声の格納状態を表示部7上のブロック指定領域14に表示すると共に、録音キー10の押下に続いて上記領域14に表示された一つのブロックが指定されるとこのブロックより集音音声を格納し、再生キー11の押下に続いて上記ブロックの一つが指定されるとこのブロックの音声再生する。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 音声を入力する手段と、音声を再生する手段と、半導体メモリからなり上記音声入力手段からの入力音声を格納するために複数のブロックに区分された記憶手段と、該記憶手段の各ブロック毎に音声の格納有無を示す情報が格納されたテーブルと、該テーブル中の情報を表示する手段と、上記各ブロックの一つを選択する手段と、録音開始を指示する手段と、再生開始を指示する手段とを備え、

上記選択手段による一ブロックの指定及び録音開始指示手段による指示がなされた時には上記音声入力手段から入力された音声を上記選択手段で指定された上記記憶手段中のブロックに格納し、上記選択手段による一ブロックの指定及び再生開始指示手段による指示がなされた時には上記選択手段で指定された上記記憶手段中のブロックに格納されている音声を上記音声再生手段より再生出力することを特徴とする録音再生装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の一実施例を説明するための概略図である。

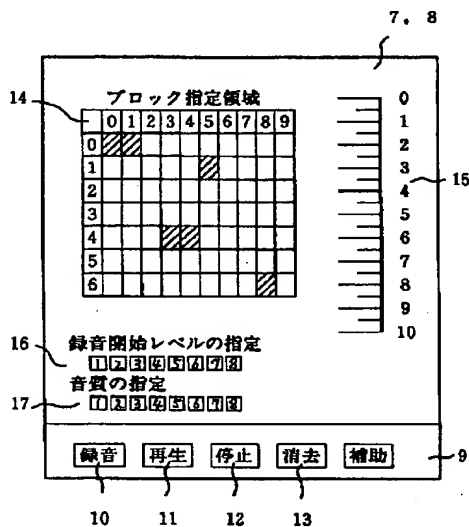
【図2】 本実施例を説明するための概略図である。

【図3】 本実施例の回路構成を示すブロック図である。

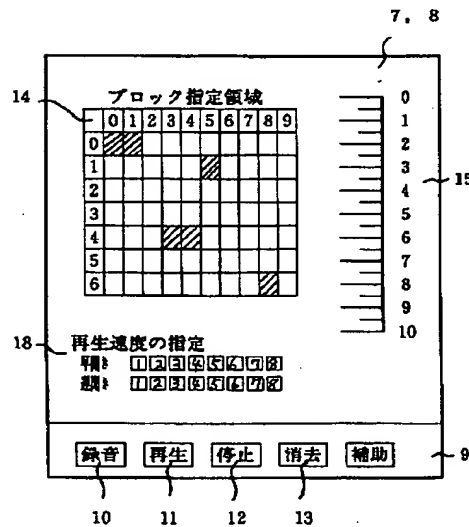
【符号の説明】

- 1 主制御部
- 3 マイク（音声入力手段）
- 4 スピーカ（音声再生手段）
- 5 音声記憶部
- 6 テーブル
- 7 表示部
- 8 タッチパネル
- 9 入力パネル
- 10 録音キー
- 11 再生キー

【図1】



【図2】



【図3】

